

平成 30 年度 山北高校 学校目標

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①これまでの教育成果をふまえ、よりきめ細かな学習指導のできる、教育課程と学習環境の充実を進め、学力の向上を図る。</p> <p>②自ら学ぶ力を育成するため、個々の教員の授業力・教育力の向上を図る。</p>	<p>①カリキュラム検討委員会を立ち上げる。</p> <p>②基礎基本の学力の定着と応用力育成に対応できる教員のスキルアップを計る。</p>	<p>①カリキュラムの見直しを図るとともに、これまでのスポーツリーダーコースの特長を生かす。</p> <p>②主要科目で、生徒の実態に応じた少人数クラスを設定し、きめ細かい授業を展開する。</p> <p>・組織的な授業改善に取り組み、授業力向上に努める。</p>	<p>①カリキュラム改定に向けて、具体的な検討をおこなうことができたか。</p> <p>②生徒個々に自学自習の習慣が身に付いたか。</p> <p>・校内授業力向上研修を実施できたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①『一人が一校を代表する』という考えのもと、規範意識や基本的生活習慣の定着を図り、教育相談体制を充実させ、『いじめ問題』等への迅速かつ適切な対応を行う。</p> <p>②部活動・委員会活動を通して、人間力、自主性、実行力、リーダーシップ等の育成を図る。</p>	<p>①生徒自身が各自の課題を明確にし、前向きに、積極的に過ごすことができるよう、直接・間接的に支援し、有意義で実りある高校生活の実現を継続して目指し「一人は一校を代表する」を理解させる。</p> <p>②生徒一人ひとりが生徒会行事に主体的に関わることで、より民主的な学校運営につなげる。</p>	<p>①定期的な学年集会等を通して、アイデンティティを高めることにより規範意識や自律心の醸成を促し、学校全体の取り組みとする。</p> <p>・教育相談、個別支援体制やいじめ防止に対し、研修を通じて職員全体への周知と能力の向上を図る。</p> <p>・心身の健康や生活習慣を自主的に管理できる能力を育成する。</p> <p>②特に委員会活動の活性化を図り、組織の一員としての意識を養う。</p>	<p>①学年集会実施数と指導内容が適正であったか。</p> <p>・全体研修やケース会議の実施回数や研修内容が適正であったか。</p> <p>・生徒のアンケートでいじめがゼロであったか。</p> <p>・特別指導の件数が3以内であったか。</p> <p>・健康課題の把握と指導状況は適切であったか。</p> <p>②生徒会行事において委員会が機能していたか。</p>					
3 進路指導・支援	<p>生徒一人ひとりの進路希望に応じたきめ細かなキャリア教育の実践を図る。</p>	<p>①3年間を見据えキャリア教育を計画的に推進する。</p> <p>②きめ細かな指導体制を整える。</p>	<p>①分野別ガイダンスを充実させ、進路決定の実現を行う。</p> <p>②長期休業中の補習・講座を充実させるとともに、動画配信講座を積極的に活用させる。</p>	<p>①分野別ガイダンスを何回実施できたか。</p> <p>②夏季休業中の補習・講座の出席者数が100人以上であったか。</p> <p>・動画配信講座を活用した生徒が全校生徒の70%以上であり、かつ、生徒の満</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
					①ウェブページのアクセス数が6万pv以上となったか。					
4	地域等との協働	地域の意見を積極的に取り入れ、地域に開かれた、信頼される学校づくりを推進する。	①地域の方々との交流の機会を増やし、学校から適切に情報を発信し、開かれた学校づくりの推進のために寄与する。 ②生徒のME-BYO関連事業への参加を推進する。	①地域連携の継続的な充実を図り、より効果的に推進していく。地域と学校が十分な意見交換をし、相互理解を深めその意義や成果を地域に発信する。 ②ME-BYO関連授業を実施するとともに、ME-BYO関連事業に参加する。	①ウェブページのアクセス数が6万pv以上となったか。 ②生徒の、ME-BYOに対する意識の向上が図られたか。					
5	学校管理 学校運営	①教職員の計画的な人材育成、個々の資質・能力の向上を図り、学校全体の教育力の向上を目指す。 ②重点課題総点検結果を検証し、事故・不祥事防止の徹底に努める。 ③県立高校改革に基づいた、学校運営を推進する。	①特に若手職員の資質・能力の向上を目指す。 ・学校内外の研修への参加者数を増やす。 ②職員の事故・不祥事防止の意識を高める。 ③学校運営協議会を立ち上げる。 ・業務への取り組みにおいて、引継ぎを意識して取り組むようにする。	①若手職員を対象とした校内研修会を随時実施する。 ・県機関の研修への参加を促し、その他研修・イベントの情報を提供する。 ②学校の課題を整理し職員への啓発活動を計画的・組織的に展開する。 ・毎月実施する不祥事防止研修会において、県当局から提供される事例以外も取り上げる。 ③学校運営協議会を定期的に開催し、提言を行い、諮問を受ける。 ・業務カレンダーや業務分担表を活用するとともに、ファイル基準に準拠した形で書類の保管を推進する。	①若手職員を対象とした校内研修会を月1回以上実施できたか。 ・研修・イベントへの参加数がどれだけあったか。 ②研修内容とその満足度が高いか。 ・職員から提案された事例がいくつあったか。 ・事故不祥事は0であったか。 ③学校運営協議会の部会を何回開催したか。 ・業務カレンダーを作成したグループまたは教科、個人等がどれだけあったか。					